



つまごいむら

# 農業委員会だより

第38号

平成25年1月15日



編集・発行／嬬恋村農業委員会 ☎0279-96-1256

## 年頭所感



農業委員会

会長 小嶋良一

新年明けましておめでとうございます。皆様には輝かしい新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。日頃より農業委員会活動に対しましてはご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

現在、本村の農業委員は選挙委員19名（内女性1名）、選任委員4名（内女性1名）の

計23名です。農業委員会では、特に農地の所有権移転や利用権の移転設定等の権利移動や転用規制等の業務の実施、遊休農地の発生防止や解消を含む農地の確保と有効利用の推進や調整を行っています。農

地に関することについてはお近くの農業委員にお気軽にご相談下さい。

一昨年3月に発生した東日本大震災による電所事故に伴う放射性物質の影響は本村においても風評被害、損害賠償の遅れ、農産物や土壤の安全性の確保など長期間にわたる課題を残しました。今後も細かな検査を継続的に実施し安全性の確保に努めなければなりません。

昨年は、キヤベツのJ.A販売量は1,

895万ケースとなりました。が販売価格が終始低迷し農業経営に大打撃を被る結果となりました。JA嬬恋村では経営安定のため農業経営振興資金を設けて農家に資金融資を行うことになり、村ではこの融資に対して利子補給を行うことになりました。引き続き

農業経営安定のための経営改善指導の充実や、機械・施設整備への支援や融資制度の充実を県国に図っていただきたいと存じます。

村当局の有害鳥獣被害対策の強化が年々拡充されていることには感謝申し上げます。

捕獲頭数は年々増加の傾向が見られることから個体数が急激に増加するのではないかと心配しております。有害獣による被害は當農意欲の喪失や地域における農作業や日常生活の安全性確保にも問題が生じるなど深刻な状況になりつつあります。村においては個体数調整、監視体制の強化、わな猟資格取得の促進、専門の捕獲従事者の確保、猟友会との連携強化及び防護策や緩衝帯の設置などの対策を引き続き強力に進めていただきた

いと存じます。

本年が皆様にとりましてより良い年となることをお祈りし新年のあいさつといたします。

近年、特色ある地域活性化、地域づくりの手段として、地域の農産物を他の地域のものと差別化を図るために地域ブランド作りの取り組みが全国的に盛んに行われています。農産物は、生産地の気候や土壤等の自然条件、「食」に関する地域の歴史や文化などの影響を強く受けるという特徴をもっています。このような「地域性」を活かして農産物の「地域ブランド」を確立することができます。付加価値の向上、地域産業の競争力強化、ひいきヤベツ」に続いて本村の農産物の馬鈴薯、トウモロコシ、米などの地域ブランドの確立が期待できます。「嬬恋高原

地域活性化とともに大きな期待であります。村においては新政権には「農業が国づくりの基本」であることをしっかりと踏まえた政策の実行を強く期待したいと存じます。

昨年末には衆議院総選挙が行われ政権が交代いたしました。農政のあり方も大きい変化があることが予想されます。新政権には「農業が国づくりの基本」であることをしっかりと踏まえた政策の実行を強く期待したいと存じます。

本年が皆様にとりましてより良い年となることをお祈りし新年のあいさつといたします。

## 宮城県南三陸町への視察研修を終えて

農業委員



干川昌希



被災した特養老人ホーム慈恵園

## 南三陸町を訪れて

農業委員



黒岩一元

私たち農業委員会では昨年11月14、15日と宮城県南三陸町方面に復興支援を兼ねての視察に行つきました。当日は嬬恋を朝五時に出発し午後一時半頃には南三陸町の役場に到着し地元の農業委員の方々との懇談会で震災の様子や町の農業の現状を伺い有意義な意見交換が行われました。

その後震災の『語りべ』と言われる方に同乗して頂き町内をバスで巡回しました。その日の夕方はちょうど大潮の満潮ということで日中は何ともなかつた国道が海水に浸つていって驚きました。翌日は朝一番に元特養老人ホーム『慈恵園』跡に行き津波の犠牲になつた方々の為に献花を行いました。その後は松島に行き遊覧船に乗りましたがここでガイドさんは30代位の女性で震災で家が傾いて避難している

が力強く前を向いて歩む人達に出会えてよかつたと思いました。

そうですがとても前向きでとにかく話が楽しく船から降りるときは私達の方が元気と勇氣を頂いたようでした。今回被災地を巡つてみてまだまだ復興に時間がかかりそうです。

東日本大震災により死者・行方不明者803名、建物被害3,311戸、農地浸水460ha、地盤沈下約70cm、第2種漁港4港全てが壊滅しました。

14日午後被災地に着くも、写真や映像と違い、津波で壊れた防潮堤、水門、骨組みだけのビル、瓦礫の山等々眼に

入る光景は、衝撃でした。これが本当に人々が生活している所だつたのか? 自然の驚異に目を疑い恐ろしさと共に

非常に心が痛みました。

南三陸町役場での状況、町の農業、嬬恋村の農業、浅間押しの話等の意見交換を行う。

町では「なりわいの場所は様々であつても住まいは高台へ」を土地利用の基本的考え方

しかし現実は大変で、家がどこに建つか、共同経営でないと補助制度が使えない、小規模経営・高齢者が多い等問題が山積しており、復興は簡単ではないとのことです。

避けることの出来ない自然災害から生命・財産を守るために、過去の被害を忘れることが本當に人々が生活しているに逆らわない』政策の推進を強く感じました。



南三陸町での交流会の様子

## 耕作放棄地再生を促進するための「実証試験ほ場」を設置しました。

耕作放棄地となっている農地の再生や作物の栽培を実証・展示することにより、耕作放棄地の再生・利用に係る機運を醸成し、その促進を図ることを目的として平成23・24年度の2ヶ年にわたり干俣バラギ地区に「実証試験ほ場」の設置をしました。平成23年度に重機等による除石工事、平成24年度にそば栽培を行いました。国の耕作放棄地再生利用緊急対策事業を活用したものであります。

「実証ほ」の概要	
① 取組主体	嬬恋村担い手育成総合支援協議会
② 設置場所	嬬恋村干俣バラギ湖北地区 標高約1,350m 地区農地面積 86ha (内耕作放棄面積 19ha)
③ 実証ほ場面積	48.78a
④ 耕作放棄地となった理由	当地区的農地は山成工法で造成(s46~57年)した。豪雨等での表土流出や大型機械による深耕などが原因となって石が大量に畑に出るようになった。
⑤ 試験栽培作物	そば (ア) 北早生そば (イ) 信濃一号 (ウ) 福井在来種



### (ア) 再生作業結果について

予想以上に石礫量が多く、当初の見積工事量の3倍となった。耕作土は40cm厚とした。今後当地区での耕作放棄地解消対策事業の推進を図る上で大変厳しい結果となった。

### (イ) そばの試験栽培結果について

7月17日三品種を播種。種量は北早生そば5kg、信濃一号7kg、福井在来そば5kg。

北早生そばが一番開花が早く、次に信濃一号、三番目に福井在来種の順。収穫刈取は9月26日に北早生そばと信濃一号を農協のコンバインで収穫した。北早生そばの収穫は2週間くらい早くても良かったようである。このとき福井在来は花が満開の状態だった。福井在来種は10月24日に収穫作業を行った。

玄そばの収穫量は北早生そばが40kg、信濃一号は36kg、福井在来種は8kgであった。本村のそばの平均的な収量は10a当たり70~80kg(標高700~1,000m)であるので北早生そばと信濃一号は約五割程の収量であった。粉は玄そばの約七割であった。

### (ウ) 実績報告会について



品種名	北早生そば	信濃一号	福井在来そば
播種日	7/17	7/17	7/17
播種量	5kg	7kg	5kg
開花時期	早	並	遅
収穫時期	9/26 (2週間早くても可)	9/26	10/24
玄そば収穫量 (粉は玄そばの約7割)	40kg	36kg	8kg
村内の平均的な収量70~80kg (標高700~1,000m)			

11月6日に農業者、栽培従事者、関係機関等を集め「水車」(鎌原地区)で実績報告会を実施。実証ほ場で栽培したそばの試食及びアンケートを実施したところ、信濃一号が一番人気であったが偏ることはなかった。また、そば粉を使ったお菓子の試食を行い消費拡大をPRした。

### (エ) 結論

再生作業費のコスト高とそばの生産量が比較的少ないとから、同地区の気象条件、畑の状況での耕作放棄地解消のうえ、普及拡大を図るのは難しい結果となった。

ただし、信濃一号の人気があったことと、近年需要量に対して生産量が減少していることから、村内の他地区における作付け拡大が期待されている。そばの作付けの相談はJA嬬恋村営農畜産課(TEL 80-6204)へ。

TEL 96- 1256	詳しく述べ までお問い合わせ下さい。 さい。	耕作放棄地は迷惑です。	
		耕作放棄地を引き受け耕作を再開する農業者等が行う再生作業(障害物除去、深耕、整地等)に要する費用の補助。	耕作放棄地を引き受け耕作を再開する農業者等が行う再生作業(障害物除去、深耕、整地等)に要する費用の補助。
		定額支援(5万円/10a)又は重機を用いて行う場合	定額支援(5万円/10a)又は重機を用いて行う場合
		・病害虫の発生の原因となる周辺の農地への雑草繁茂の原因となる野生の鳥獣の棲家となってしまう用排水路などの管理が困難になる農地のもつ災害防	・病害虫の発生の原因となる周辺の農地への雑草繁茂の原因となる野生の鳥獣の棲家となってしまう用排水路などの管理が困難になる農地のもつ災害防
		・ごみの不法投棄場止機能が低下する景観の悪化となってしまう	・ごみの不法投棄場止機能が低下する景観の悪化となってしまう
		・地等)に要する費用の補助。	・地等)に要する費用の補助。
		耕作放棄地再生利用緊急対策事業を利用しませんか	耕作放棄地再生利用緊急対策事業を利用しませんか



食育授業で人参を食べる子供達

昨年度は、佐藤さんに提供いたいた人參を使い村内の幼稚園において食育の授業を行いました。人参のジュースやゼリーを試食した子供達は「甘くておいしい」と、ちょっと苦手な人参も笑顔で食べていました。

本年度は、幼稚園に加え、福島県南相馬市・村の文化祭・自由が丘のクリスマスツリーポート点灯式でジュースの試飲会を行いました。

現在、ジュースは商品化し販売しており、今後はペイストやフリーズドライでの利用を考えました。

本年度は、栄養士さんにお願いし試作品のキャベツ酢を使った野菜・肉・魚料理の試食会を県関係者等により行いました。「米・麦等の酢よりもやかで食べやすい」「野菜料理とよく合う」との意見をいただき好評でした。今後は、飲む酢や漬物用など嬬恋村のお土産品として商品開発を考えております。

役場農林振興課では、嬬恋村の農産物を使った商品開発をしたい方、また、6次産業にチャレンジしたい方を支援いたします。お気軽にご相談下さい。

## 人参ジュース・キャベツ酢商品開発

### ◆人参ジュース◆

役場特産品開発研究会では、大釜の佐藤恵一さんにご協力いただき、嬬恋村産のフルーツ人参を使った試作研究を行つております。

昨年度は、佐藤さんに提供いたいた人參を使い村内の幼稚園において食育の授業を行いました。人参のジュースやゼリーを試食した子供達は「甘くておいしい」と、ちょっと苦手な人

### ◆キャベツ酢◆

昨年度より、農林振興課では群馬県農業技術センターにキャベツ利活用試験研究要望として、キャベツ酢の加工を依頼しております。



キャベツ酢を使った試食品

## 農業経営者の皆さんへ

～新たな農業経営指標を活用しましょう～

農林水産省では、農業経営者の皆さんのが自らの経営改善のために活用できる「新たな農業経営指標」を策定しました。

この指標を活用して、経営改善に必要な取組の自己チェックや経営データの確認を行い、経営のレベルアップを図りましょう。

### 認定農業者の皆さんへ

認定農業者の方は、経営改善計画に沿った経営改善を着実に進めるため、毎年定期的に農業経営指標に基づく自己チェックを行ってください。

### 「新たな農業経営指標」を活用するには…

#### 用意する物

- ・パソコン（インターネットに接続されているもの）
- ・経営内容の目標及び計画がわかる資料（認定農業者は農業経営改善計画認定申請書）
- ・青色申告決算書（農業用）
- ・作業日誌等（労働時間がわかるもの）

### 農林水産省「新たな農業経営指標」ホームページへアクセス

インターネットで「新たな農業経営指標」で検索 または URL:<http://www.maff.go.jp/j/ninaite/shihyo.html> を直接入力

「経営改善実践システム」を利用し取組の自己チェックと経営データの記入を行い評価結果シートを作成します

評価結果シートをもとに、現在の経営状況を確認するとともに、今後の経営の改善や発展の方向を検討して、翌年の経営計画に反映させましょう。

お問い合わせ先 嬬恋村農業委員会 TEL96-1256(直通)